

オーガニック食用油市場の規模、シェア、そして2032年までの成長レポート

Fortune Business Insightsによると、世界の[オーガニック食用油市場](https://www.fortunebusinessinsights.com/organic-edible-oil-market-104364)は、健康、持続可能性、そしてクリーンラベル原料に対する消費者意識の高まりに牽引され、力強い成長を遂げています。市場規模は2024年に33億9,000万米ドルと評価され、2025年には36億9,000万米ドルに達すると予測されています。2032年には71億4,000万米ドルへと大幅に拡大し、2025年から2032年にかけて9.90%という力強い年平均成長率(CAGR)を記録すると予想されています。この急速な拡大は、より健康的な調理法への大きな転換と、世界的なオーガニック油糧種子生産の増加を示唆しています。

情報源:

<https://www.fortunebusinessinsights.com/organic-edible-oil-market-104364>

市場シェアとセグメントの洞察

2024年には、北米が世界市場を40.41%のシェアで支配しました。これは、自然食品や認証オーガニック食品への高い需要に支えられています。米国とカナダの消費者は、栄養面と環境面での利点から、オーガニック大豆油、ヒマワリ油、ココナッツ油、オリーブオイルをますます好んで使用しています。

有機大豆油は、2025年も引き続き主要セグメントであり続けると予想されています。揚げ物、焙煎、ベーキング、工業用途での幅広い使用と、有機大豆の豊富な供給が相まって、最も好まれる製品タイプとなっています。

流通面では、スーパーマーケット／ハイパーマーケットは、商品の認知度とブランドの豊富さから、依然として最大の販売チャネルとなっています。しかし、利便性、割引、そして幅広い品揃えを背景に、オンライン小売が最も急速に成長する流通チャネルになると予測されています。

地域および国レベルのハイライト

アメリカ合衆国

米国市場は2032年までに31億8000万米ドルに達すると予測されています。この成長は、クリーンラベル、非遺伝子組み換え、オーガニック認証の食用油への関心の高まり

によって牽引されています。有機農業の普及と健康的な脂肪の消費量の増加も、需要のさらなる増加に貢献しています。

インド

インドでは、健康意識の高まりとオーガニック食品の普及に支えられ、オーガニック食用油の消費量が着実に増加しています。2019年から2020年にかけてオーガニック食品の消費量が増加したことは、より健康的な食習慣への移行を示しており、オーガニック油の長期的な需要を促進する可能性が高いと考えられます。

ヨーロッパ

ドイツやイタリアといった国々は、ヨーロッパ市場への大きな貢献を果たしています。オーガニックオリーブオイル、菜種油、その他のコールドプレスオイルは、家庭や食品サービスにおいて、調理、ドレッシング、サラダの準備など、ますます多くの用途で利用されています。地中海式ダイエットのトレンドは、この地域全体の需要を押し上げ続けています。

オーストラリア

オーストラリアは国内の油脂生産の向上により、市場での存在感を高めています。新たな植物油精製所やオーガニック加工施設への投資により、サプライチェーンが強化され、オーガニック食用油の生産量増加が可能になっています。

南アメリカ

ブラジルやアルゼンチンなどの国々では、有機農地の拡大が進んでいます。大手食用油メーカーによる戦略的な買収や提携は、特に大豆やヒマワリの生産が豊富な地域において、有機油の生産増加に貢献しています。

主要な市場推進要因

1. 健康とウェルネスへの意識

生活習慣病への懸念が高まるにつれ、消費者はより健康的な代替品を求めるようになっていきます。オーガニック食用油は化学農薬、保存料、遺伝子組み換え作物を含まないため、健康志向の消費者にとって非常に魅力的です。

2. コールドプレスオイルの人気の高まり

ココナッツオイル、オリーブオイル、アボカドオイルなどのコールドプレスオーガニックオイルは、栄養素の保持率、抗酸化物質の含有量、自然な香りが高いことから、需要が増加しています。

3. パンデミック後の健康的な食生活への移行

COVID-19パンデミックにより、消費者が免疫力、栄養、家庭料理に重点を置くようになり、健康的な調理法の代替品に対する需要が加速しました。

4. 可処分所得の増加

発展途上地域における都市化の進行と所得水準の上昇により、高品質のオーガニック食用油の需要が高まっています。

5. メーカーによる製品イノベーション

企業は、新規顧客を獲得するために、新しいオーガニックオイルの品種を発売したり、高級パッケージを導入したり、認証製品ラインを拡大したりすることがますます増えています。

課題

市場の勢いは強いものの、依然としていくつかの障害が残っています。

- 高額プレミアム価格：オーガニック オイルは、生産コストが高く、認証要件があり、収穫量が少ないため、価格が高くなります。
- 供給制約：有機油糧種子の供給が限られると供給のボトルネックが生じ、高まる需要を満たすことが難しくなります。
- 品質認証の問題：一部の地域では標準化された認証が不足しており、消費者の不信感や品質の一貫性の欠如につながっています。

主要プレーヤー

世界のオーガニック食用油市場で事業を展開している大手企業には以下の企業が含まれます。

- カーギル社
- ヌティバ
- カターニア・スペイン
- EFKOグループ
- アーリアン・インターナショナル
- アダムスグループ
- ダボンオーガニック
- ナウフーズ
- B&Gフーズ株式会社

- ビバナチュラルズ

これらの企業は、オーガニック食用油の需要拡大を活用するために、オーガニック農業に投資し、製品ポートフォリオを拡大し、サプライチェーンを強化しています。

結論

消費者が健康、純度、持続可能性を重視する傾向が強まる中、オーガニック食用油市場は長期的に力強い成長が見込まれています。市場規模は2032年までにほぼ倍増すると予測されており、メーカー、サプライヤー、小売業者はオーガニック製品の提供を拡大する大きなチャンスに恵まれています。価格設定と供給不足に関連する課題を克服することが、この急成長市場の潜在能力を最大限に引き出す上で極めて重要です。